

# 進路だより

題字  
志垣嘉納子  
第二高校進路指導部編集  
令和2年度  
第2号(通巻121号)

## 楽しかる明日を築かん

教頭 松野 研 介

第二高校は、昭和三十七年に、熊本

城二の丸で開校しました。「銀杏城の楠若葉」と歌い上げる「生徒歌」は、開校準備室の一員だった稲員仁郎先生の作詞です。生徒綱領「自主積極」「廉恥自尊」「礼節協調」は、初代校長広永政太郎先生が定められたものです。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

【問題一】「第二高校は、なぜ昭和三十

七年にできたのでしょうか。」  
高校一年生は、十五歳で入学することが多いです。この年の高校一年生、第二高校一期生の方々が生まれたのは昭和二十一年か二十二年でした。西暦一九四六年か一九四七年です。

一九四五年八月十五日、第二次世界大戦、太平洋戦争が終わりました。敗戦国となり多くの兵隊さんたちが家に帰りました。日本中が平和を喜び、多くの子どもが生まれました。ベビーブー

ム、団塊の世代です。

【答え一】「第二次世界大戦が終わったから。」

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

「校歌三番

朝空に映ゆる 古城

かぐわしき 青葉楠の葉

育まれゆく 平和のこころ

いざ友よ 睦み合ひつつ

楽しかる 明日を築かん

おお明朗の 第二高校

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

校歌一番は「自主積極」、二番は「廉恥自尊」。三番は「礼節協調」を織り込みつつ、「育まれゆく平和のこころ」「楽しかる明日を築かん」と歌い上げます。

一期生の先輩方は、「平和」を実感して歌われたことでしょう。校歌を制定した、第二高校ができた時代の大人

たちは、全員が戦争経験者です。この歌詞には、切実な思いが込められているはず。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

私事ですが、第二高校ができた年に生まれた僕は、昭和五十三年、一九七八年に十七期生の一人として二高生になりました。終戦の十七年後に生まれ、三十三年後に高校生になった僕にとって、戦争は遠い過去でした。出征した体験がある伯父から、脚に残る銃創を見せられても、何か遠い世界の物語のようでした。「平和」は当たり前で、

ことさらに言うことは、不思議でした。その時代にも戦争はあり続けていて、ベトナムでは一九五五年から二十年間も戦闘が行われていたにです。意識の高い友人はもちろんいましたが、僕は、目の前のこと、半径数十メートルのことしか考えきれない高校生だったのです。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

「僕はあの戦争から十七年しか経っていない年に生まれたのだ」と気づいたのは最近です。今の僕にとって十七年前はついこの前です。今から十七年前、二〇〇三年のキーワード。イラク戦争、SARS、マニユフェスト、異常気象、はやぶさ、ヒトゲノム、北島康介、松井秀喜、セリーナ・ウィリアムズ、「博士の愛した数式」「キャチャー・イン・ザ・ライ」「キル・ビル」「名探偵コナン 迷宮の十字路」「世界に一つだけの花」「さくら」。切りはありま

せんが、知っているワードもあると思います。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

【問題二】「十七年後のキーワードは何でしょうか。」

【答え二】「SDGsなど、示されてはいるけれど、分らない。」

大きな変化を迎えている時代だと言われます。無くなる職業、これから生まれる職業など、いろいろと喧伝されていますが、いつの世も変化してきました。

二高生のみなさん。十七年後の社会十七年後の自分が不確定なのは当然だと思います。僕は、二十二歳の時に十二年後をイメージせよ、と言われて夕方暮れました。遠すぎでした。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

以下、当たり前のことですが。

(一) 今ある環境や人間関係は、二度と揃わない奇跡であることに気が付き、大切にす。

(二) 今日起こることは、二度と起こらない奇跡であることに気が付き、大切にす。

(三) 今、自分がここに居ることは奇跡的なことだと気が付き、大切にす。

(四) 今自分ができることがあることは、奇跡的なことだと気が付き、大切にす。

(五) 今が奇跡であることに気づき、今を大切にすることが未来につながることを信じる。

各学年の先生方から

【三学年】

玲瓏になっっている五十七期生

三学年主任 徳永豪男

年度初めに掲げた学年目標は「玲瓏」進路実現に向けて考えろ行動せよ」

この度、菅新総理とバイデン新大統領がほぼ同時期に誕生しました。この二人の共通点のひとつは、前リーダーの右腕としてその手腕を発揮し、着実に任務を遂行してきたということとです。主役を影で支えその責務を果たし、信頼と安定感を積み上げ、人生のチャンスをつかみとりました。この二人から、結果までの過程（プロセス）がいかに大切かを知ることができます。

さて、三年生へ目を向けると、まだ暗い朝の六時過ぎに登校し、朝課外前に教室で自学をしている人や、進路指導室の前で先生方に質問をして学びを深めている人。さらに休日の教室開放を利用し、一日中黙々と学習に励む人や昼休みに食事の時間も惜しんで学習に励む人がいます。

また、先生方から面接や小論文の指導を熱心に受けている人もいます。その他にも見えないところで頑張っている人もいます。

君たちは、先輩たちが伝統としてきた二高生としての学びの行動をしっかりと引き継いで、貴重な時間を過ごしています。将来、この時間を乗り越えた者だけが味わう何かがあると私は思います。そこが「本物の玲瓏」と言えます。しかし、君たちの中には自分がどんなに時間を費やしても、達成感や成長を感じられずに焦っている人がいるかもしれません。結果にばかりとらわれるのではなく、その過程を大切にしてください。初めての共通テストで不安を抱いているのは、みんな同じです。君たちが自分で決めて行ってきたこれまでの学習を、試験当日までやり遂げましょう。最後まで継続し、本物の玲瓏を完成させましょう。

終わりに、来年の干支は丑（うし）です。その名のとおり牛歩の如くしっかりと地に足をつけ着実に前へ進んで行こう。最後まで「進路実現に向けて考えろ 行動せよ」玲瓏たれ五十七期生

五十七期生へ

三年一組担任 坂田壮史

「あなたの『こころ』はどんな形ですかと、ひとに聞かれても答えようがない自分にも他人にも『こころ』は見えないけれど、ほんとうに見えないのであろうか確かに『こころ』はだれにも見えないけれど『こころづかい』は見えるのだそれは、人に対する積極的な行為だから同じように胸の中の『思い』は見えないけれど『思いやり』はだれにも見えるそれにも人に対する積極的な行為なのだからあたたかい心があたたかい行為になりやさしい思いがやさしい行為になると『心』も『思い』も初めて美しく生きるそれは、人が人として生きることだ」

共通テストがいよいよすぐそこまで近づいています。進路実現に向けて毎日を一生懸命に過ごしている皆さんに一つアドバイスがあるとすれば、「自分のためにだけに頑張らない」ことです。例えば、頑張ることに疲れたときや「もうだめかも」と思ったときは、自分が喜んでいるときと一緒に喜んでくれる人や、自分が喜ばせたい人たちのことを思い浮かべると、また自分と同じように頑張っている人や、自分を影で支えてくれている人たちに目を向けてみる。経験上、その方が自分のためだけに頑張るよりも、良い結果につながると思います。周囲への思いやりや心づかいを忘れず、自分以外の誰かのために頑張る心の余裕を持ってください。

コロナ禍の中で

三年二組担任 片岡功一

大学入試改革で大学入学共通テストに変わりますが、記述の問題や英語民間試験の統一基準での活用はなくなりました。そして、コロナ禍の中で大きく世の中は様変わりしてしまいました。今年は、辛く感じたり喪失感や不安を感じる事があったと思います。気持ちを切り替えて今までよく頑張ってきました。

これから君たちは大学受験を乗り越えて世の中に出ていこうとしています。今後世の中がどう変わっていくのか分かりませんがしばらくすればマスクをはずせる日がやってくるのでしょうか、それとも、今の状態が何年も続くことになるのでしょうか。そんな世の中で、どう生きていけばよいのでしょうか。嘆いてばかりいても仕方ありません。視点を変えれば、今までにないビジネスチャンスを見つけることができるかもしれません。同じことをするにしても、自らの考えで前向きに積極的に取り組むと見え方が違ってきます。そして、こんな時代だからこそ、人との出会いやふれあいを大切にしていきたいものです。リモートなどで直接には人と会えないことも多いですが、これから新たな人との出会いがたくさんあります。その出会いを今まで以上に大切にすることが生活を豊かにすることだと思えます。積極的に他の人と交わることだと思いませんか。世の中には、まだ君たちが出会っていない心躍る楽しいことがたくさんあります。これから先は楽しいことがたくさん溢れています。「きょううまくいく」こんな題名の面白いインド映画がありました。心が、心の持ちようです。受験勉強には限りがあります。いつまでも続くことはありません。残りの日々を精一杯取り組むことを期待しています。

それでも道は続く

三年三組担任 米本 歩

一九八九年三月平成が始まった年、私は人生究極の選択に迫られた。今の三年生と同じように受験生であり、共通一次(？)試験では予想通り数学・理科が惨敗であった。そのため文系三教科で受けられる公立の英文科と、私立の歴史学科を受験したもののどちらも発表日に合格通知が届かなかった。浪人を覚悟し予備校のクラス分け試験を受けた数日後、同日にその公立と私立の大学から追加合格の連絡を電話で受け取った。

私の父親は、常日頃から国立しか行かせないの一点張りだったので、最初は公立の英文科に進学するつもりではあったが、歴史を学びたいという気持ちをあきらめることが出来なかった。結局親を説得し、公立に合格するというノルマを果たしたことで私立大学への入学を許可してもらった。

私とその頃将来の目標としていた職業は新聞記者だった世の中を正しい方へ変えていこうなどという高い志があったわけではなく、ただ格好良さそうと思っていただけである。新聞記者になるための努力は全くやっていなかった。一方、一番なりたくない職業は教師だった。まず人見知り

で人前に立つことが嫌だったし、教師というものが世の中の不条理を体現しているように感じていた。しかも、父親は私立大学に行かせる条件が教員免許を取得することだったので、スポンサーには逆らえず一応免許は取得した。

あれから紆余曲折あって私は教師になった。ずっと海外で生活することを夢見て大学に行ったのに、大嫌いだっただ元に住み、地元で家庭を築いた。私が行くかもしれない大学に英文科の先輩はジャーナリストになり、海外取材中に銃撃で亡くなった。私はそこに進学しても志と努力が足りずそんな立派な人にならなっていくだろう。

教師としては、かなり今ひとつの教師だと自覚しているただ振り返ると教師生活のなかで数多くの生徒や同僚の先生方との出会いがあり、数多くの自分以外の人生や思いを知る事が出来た。たぶん教師になったからこ社会を見た人々だと思ふ。私は世の中を変える人間にはならなかったが、私の出会った生徒が世の中を変えてくれるだろう。教師になるつもりではなかったが、その出会いの中で私も少しは人間として成長できたかもしれない。

三年生の皆さんも今は見えない未来に不安を感じ、進むべき道が見えずにいるかもしれない。人生には多くの選択や岐路があつてどちらかが正解というわけではないと思う。どちらを選んでも道は前に続いていて、その道に出会うべき人、なすべき事が待っている。その道で出会うべきものをより誇れる自分であるために、今は一生懸命、前に歩みを進めて欲しい。足元だけを見ずに。

大切なものとは

三年四組担任 中山 諒一

突然ですが、皆さんの人生にとって大切なものは何ですか？時間・家族・友達・お金・愛・コミュニケーションスキル・学力・体力など人それぞれかと思ひます。この問いに正解も不正解もないと思ひますが、私が考える大切なものを述べたいと思ひます。

十一年前、私がまだ第二高校三年四組の生徒だったとき、クラスメイトにY君という人がいました。このY君は頭脳明晰で、京都大学を目指して日々勉強に打ち込んでいました。しかしY君は前期試験で京都大学不合格となつてしまいました。後期試験とある大学に合格したものの、自分は京都大学に行きたいと浪人することを決意しました。そこから一年間さらに勉強に打ち込んだものの、残念ながら結果は変わりませんでした。最終的に別の大学に進学し、そこから私とY君の連絡は途絶えてしまいました。

昨年の夏、当時の担任の先生に呼び出され、と、そこにはY君がいました。同窓会以来約七年振りの再会でした。Y君は京都大学に行けなかった悔しさから、京都大学の学生にだけは絶対に負けたくないと研究に励んだ結果、大学院の修士課程、博士課程まで進み、やっとな就職が決まったと話してくれました。就職先は、ある国立研究開発法人で、研究者として日本や世界の発展のために研究を続けていくということでした。

Y君の話で特に印象に残ったのは、「京都大学に不合格になったから今の自分がある」という言葉でした。これを聞いて、「どこに進学するのか」ももちろんですが、「進学した先でどれだけ頑張れるか」が大切だと感じました。と同時にそのためには、「今を全力で取り組む」ことが大切だと思ひました。五十七期生の皆さん、共通テストまで残り僅かとなりましたが本当に全力で取り組んでいますか？思うような結果が出せず、苦しい思いをしている人もいます。しかしこの経験は今後の人生で必ず皆さんの力になってくれると思ひます。粘り強く、最後まで一緒に頑張りましょう！！

粘り強く

三年五組担任 市原 俊治

世界全体が昨年度から新型コロナウイルスで多くの影響を受けた。約一年前のセンター試験の会場で、他の先生方と新型コロナウイルスの話をした記憶がある。この時は、まだ日本では、他人事のような雰囲気であった。しかし、その後、あつという間に全世界が新型コロナウイルスの影響を受け、第二高校も二月末から休校となった。休校期間は長く続き、ようやく六月に再開することができた。この期間、皆さんは多くの不安を抱えたことだろうと思ふ。

六月に授業を再開して私が感じた事は、皆さんが例年以上に意欲的で、自分で考えて、物理現象を理解しようとする姿勢を持っていることだ。これは、休校期間に皆さんが身に付けた大きな力だ。

さて、高校で学ぶ物理は「因果律」に支配されている。つまり現在の状態(原因)が決まれば、その後の未来の状態(結果)は一義的に決まる。しかし、人生において、この原因づくりは無限にできる。皆さんは結果を求めて、今まで原因を積み上げてきた。そして、共通テストまで、あと少しだが、まだまだ原因作りはできる。そして皆さんが持っている、自分で考える姿勢こそが、目標達成の大きな原因となり得る。今までの自分、そしてこれからの自分を信じていこう。

自分を信じよう

三年六組担任 門川 竜也

『NARUTO』の登場人物ロック・リー。忍者になりたいが、忍術も幻術も使えない言わば落ちこぼれ。だからリーは、体術を徹底的に磨く。誰よりも、何倍も、何倍も、必死に努力する。しかし、体術はあくまでも身体能力を高めたもので、忍術や幻術を使う天才には敵わない。どんなに努力しても強くなれないんじゃないか。リーが疑心暗鬼になり、心が折れかけた時、師匠マイト・ガイが言葉をかける。

自分を信じない奴なんか努力する価値はない！！！！  
どんなに頑張っても、結果に繋がらなかったり、周りのライバルが順調に成績を伸ばしていたりすると、自分はダメじゃないか、今やっていること、全てが無駄なんじゃないかと不安に押しつぶされそうになる。心の中に確かにあったはずの自信を見失い、自分の弱さばかり気づかされてしまう。

全ての成功はいついかなる状況においても、自分を信じていることから始まらない。今の君たちには、自分自身を勇気づけられるだけの頑張ってきた積み重ねがあるはず。これまで努力してきた自分を裏切らないためにも、最後の最後まで自分を信じ努力し続け、胸を張って目標に挑んで欲しい。  
本番当日、それぞれの試験会場に向かう君たちの背中を、笑って見ていられることを期待している。

結果の捉え方

三年七組担任 佐藤勝利

湘北との戦いに敗れた山王工業の堂本ヘッドコーチは選手たちに言葉をかける。「はいあがろう。『負けたことがある』というのがいつか大きな財産になる」

スポーツから学ぶことは多い。スポーツドクター辻氏の著書『スラムダンク勝利学』からの文章を紹介する。

「スポーツは常に結果が存在する。試合をすれば勝つか負けるか、シュートを打てば入るか外すか、リバウンドは取るか取られるか。なにか行動を起こせばそこには必ず結果が存在する。しかもその結果は、○か×かしか存在しない。無論全ての競技者は勝つためにスポーツを行っているが、負けることも必ず経験している。大切なのはこの結果をどう捉えるかである。精一杯努力をして臨んだ行動に何らかの結果が生じる。困難な壁を指せば目指すほど結果への評価は厳しくなるので、不満やまだまだという感情は生じる。しかし、この時こそ勝負の分かれ目である。その満足できない結果をどう学び、発見し、情熱を落とすことなく次の変化のために充実した行動を取るかこそが大切なのである。しかしそこにマイナスの力が作用し次の行動や思考に抑制がかかり、本来持っている力を発揮せずにチャレンジするのだとすれば全く意味がなくなってしまう。結果が逃げていくことになる。この思考の差こそが結果の差を生み出す」

今、受験という勝負を挑んでいる三年生。多くの模試の結果に不満やまだだという感情が生じていると思います。過去の多くの先輩たちも同じ感情に苦しみました。その中で最終的に勝利を勝ち取ったのは、前述のとおり、情熱を落とすことなく次への変化のために充実した行動を取った人たちです。更には、受験で君たちの人生は終わりではありません。人生という長い勝負の中で勝者となるには、単に受験での勝敗という結果ではなく、その結果から何を感ぜよう変化していくか。この「受験」が君たちの財産となることを願っています。

五十七期生のみなさんへ

三年八組担任 高崎真鶴

毎年、この進路だより第2号を読んでいる三年生の姿が、私は好きだ。みんなの夢実現に向けて応援してきた先生方の想いを、しっかりと受け止めてくれているのがよく分かる。私は、今回二度目の寄稿となる。一度目は、三年前必ず成功する極意を伝授した。今年も食い入るように読んでくれていることを想像すると、あと五回は寄稿したいなと考える。

みんなに「何」を伝えようか考える。そして、「どのよう」に「伝えようか」も考える。最後に「なぜ」伝えたいのかも考える。自ずと「What」「How」「Why」の順になっている。そうだし、一つ目は、このサイクルを回すことの大切さを、みんなに伝えることにしよう。物事を深く考えることは容易いことではないが、習慣化させよう。君たちの人生を豊かにしてくるはずだ。二つ目に伝えたいこと。私は、本当に伝えたいことは大抵二つ目に書く。電通という企業をご存知だろうか？売上一兆円、経常利益一、〇〇億円を超える広告代理店である。行動規範に『鬼十則』というものがあったが、過激な表現もあることから、現在は削除されている。私自身、表現は別としてこの十則すべてが、心に突き刺さっている。この場では、第八則を紹介しよう。

「自信を持って、自信がないから君の仕事には、迫りも粘りも、そして厚みすらない」みんなは、もう自信を持ってよい頃ではないだろうか？朝から夜まで努力したことを思い出し、その努力こそが自信の裏付けである。迫りと粘りを持って共通テスト会場で会えることを期待している。

追伸…二十数年前のこの時期、私は予備校で講義名が「ベホマズン」という数学の授業を受けていました。疲労困ぱいしていましたが、その講義を受けて、ヒットポイントが全回復したことを覚えています。みんなにとっての「ベホマズン」とはなんでしょうか？見つからない人は早く見つけることができるといいですね。

共通テストの諸注意

三年S組担任 清崎洋介

共通テストの試験会場は大方七時には入室できる。時間に余裕を持って会場入りしてほしい。共通テストは試験場への入室時間も決められており、入室時間から試験開始まで三十分程の間がある。監督者から諸注意があるが、注意事項をしっかり読み、勘違いやケアレミスを防ぎたい。問題冊子には記名し、解答を残すことを忘れずに。休憩時間には終わった試験のことを話してくる者が必ず現れる。そのような者には関わらず次の試験の準備をすること。出来不出来もある。次に向けて切り替えて取り組む雰囲気互いに作ってほしい。初日の最後はリスニング。

十七時十分から始まる。体力が削られた中での試験だが、呼吸を整え全集中で臨んでほしい。十八時十分を終了。やり終えた感が出るが、この後も適度に緊張感を持って過ごしてほしい。様々なメディアから解答速報が出るが一切見ない。翌日の試験の準備に動しむこと。二日目。怖いのは慣れである。初日同様の緊張感を持って過ごしたい。特に数学はIとIIAなどの解答間違い。これは絶対に防いでほしい。文系は十四時五十分を終了。理系は理科専門が十七時五十分を終了する。終わった解放感に身を任せ過ぎない。自己採点は翌日に学校で行う。解答冊子を忘れないように準備しておくこと。本番で力が発揮できるように、今の自分にできることを精一杯やっておこう。

つい、この前まで金木犀の香りが漂っていたと思えば、木々が赤黄に染まり絨毯に。そして鈍色の空が多く見られ、夜は電飾が煌めく。凛とした空気の季節になった。君たちの表情も凛として、そこには未来を見据える精神眼差しが見られる。これが高三の冬の冬だと思えるとともに、今年も拝むことができた安堵感がある。冬が来た。

春に向けて

三年A組担任 福永真二

冬の地面は冷たくて固いが、そこでは春に向けての準備が始まっている。君たちの足元にも、同じように力を蓄えた豊かさがある。今の自分は過去の経験の上に立っているとすれば、足元にはしがみつかず、しっかりと踏みしめよう。そして日々、前進する。あるは跳ぶ。一ミリでも前進できたなら◎である。

冬は温かさが際立ち、人と人のつながりが、より一層沁みる季節でもある。君たちの努力は伝わらないかもしれないが、きっと見てくれている人がいる。太陽のように、在るのが当然すぎて気付かない。家族かもしれないし、友人かもしれない。その人たちの優しさは、心にゆとりをくれる。ゆとりが生まれると力が湧いてくる。炭治郎とか言う剣士の優しさが誰かをホッホワさせるように、力が生まれてくる。君たちは激動の年度に、進路を切り開こうとしている。大きな変化に振り回されている気がしていないだろうか（私も環境の変化に弱いのだが…）。何か動き、変化すると新しいものが入る余地が生まれ、多くの可能性が生まれる。そのような「チャンス」が今年、たくさんあると感じないだろうか。この機を逃さず、全集中で挑んでいこう。

そして、やがて春が来る。今年の春は歴史的活動自粛を経験でき、多くのことを考える創造的な時間を過ごすことができた。「今度の春は何が待っているのだろう」とワクワクしてみよう。何事も面白がりつつ、生きていくことは、変化の絶えない「これから」を生きる鍵だ。楽しみながら、未来に向けて猪突猛進するしかない。この世の中に無駄な物があるとしたら、後悔して過去に縛られること、そして、(自分を含め)人を傷つけることではないか。本当に大事な物はいっただって目に見えないから、想像力を持って自分を信じていこう。五十七期生のための最高の舞台は、多くの人のための協力が整いつつある。あとは自分らしい呼吸法で最高のパフォーマンスを！



【一学年】

三年間の経験が  
第二高校生を強くする

一年部 竹原千晶

今年も終わりに近づいていますが、この一年は、みなさんにとってどのようなものだったでしょうか。今年は新型コロナウイルスの影響で、四月に学校が始まらず、不安な思いをした人も多かったのではないのでしょうか。休校中はもちろん、学校が再開されてからも、Classなどのツールを活用して学びを進めたり、学校行事や部活動の大会でもzoomが利用されたりしました。昨年の今頃は想像もつかなかったことですが、私達の学校生活は確実に変化しています。もう新型コロナウイルスが流行する以前のように完全には戻らないのでしょうか。私自身は、オンラインの...などは苦手な分野ですが、社会人になっても日々勉強することの大切さ、変化に柔軟に対応することの大切さを実感しています。

昨年度、私は三年生の担当をしていました。昨年の今頃はセンター試験前で、朝早く登校する生徒もおり、黙々と学習に取り組んでいました。センター試験が終わり、二次試験に向け努力している中で、コロナウイルスの感染が次第に拡大していきました。感染を防止する措置をとったうえ三月一日の卒業式は実施されましたが、その後第二高校も休校になりました。大学入試でも変更があり、二次の筆記試験が中止となった大学もありました。試験に向けて頑張っていたのに、それが急に変更になったり、実施されなくなったりするのはとてもつらいことだったのでないかと思えます。そのような状況でも、生徒たちは国公立大学の中後期試験や私立大学の受験に向けて、登校して指導を受けていました。先

が見えないことに対して悩んだり、いろいろな不安もあったらうと思いますが、それぞれが今できることを考えて、最後まで努力していったように思います。

第二高校で三年間頑張った生徒は、何があっても前向きに努力ができるように成長していきます。時間を無駄にしない、遅刻や欠席をしない、早朝学習や課題への取り組み、挨拶をする、マナーを守る、学習と部活動との両立...学校生活の中で行うこと一つ一つはごく普通のことかもしれませんが、ただ、三年間の様々な経験が積み重なることで精神的にも強くなり、それがいざというときに生きてくるのだと思います。

今、一、二年生のみなさんが第二高校を卒業するまでは、まだ時間があります。例えばあと十分早く家を出るとか、計画的に学習するとか、ちょっとした事からでかまいません。まずは一つ、何か良い習慣を身につけてみませんか。できることから一つずつ、最終的には先輩達のように、第二高校生として大きく成長してくれることを期待しています。

光り輝く未来へ向けて

一年部 田中知史

四月に第二高校に赴任し、早いもので九月が過ぎました。色々な期待や不安もありながらのスタートでしたが、何よりも今年度は新型コロナウイルスの影響で、二ヶ月にも及ぶ休校期間があり、生徒と会うことのできない不思議な時間が長く続きました。それでも無事再開された学校生活で、朝課外等の後にも静かに学習を進める生徒の姿に驚きを覚えたことを、今でもはっきりと覚えていてます。第二高校とはこういう学校なのかと、改めてこの学校に赴任したという気持ちにさせられた瞬間でした。そんな第二高校の生徒の皆さまへ、今回はこれから運命を切り拓くためのメッセージを記したいと思います。

前述しましたが、新型コロナウイルスによる生活の変化は未曾有の出来事となったことでしょう。三年生は面接試験を遠隔で行うなど、このことを機に私たちは「学び」について改めて考えさせられ、「新しい学び」が始まったのではないかとすら思いました。今まさにその入り口に立っている皆さんは、これから訪れる未知への遭遇に、勇気を持って進んでほしいと思います。

ですが単に「勇気を持って」と言われても、先の見えない不安と隣り合わせであることは誰もが心配だと思えます。このことについてここで私が大学時代に専門に学んだことを例に話させてもらいます。私は大学ではレーザー光を用いた光物性についての研究を行いました。ところで、この「レーザー」と言う単語が略語であるということは知っていますか？「Light Amplification by Stimulated Emission of Radiation (誘導放出による増幅放射)」の頭文字語(アクロニム)であり、指向性と収束性に優れた、ほぼ単一波長・同位相の電磁波(コヒーレント光)を発生させる装置」がレーザーなのです。少し難しいかも知れませんが、知って欲しいレーザー光の特徴は①増幅された光放射、②同位相(コヒーレント)の光であることの二点です。

これらはまさに第二高校で学校生活を過ごすみなさんによくあてはまることだと思っています。繰り返す日常の中で仲間と互いに歩を進めながら、少しずつ知識を蓄え、その知識はやがて大きな光となり社会へと放たれていくのでしょうか。特に、受験を控える三年生は、今まさに光放とうとしている直前ではないでしょうか。「受験は団体戦である」とはよく耳にしますが、是非このレーザー光の原理のように、足並みを揃えて強く前進して欲しいと思います。そして最後は一人ひとりの持つ大きな光で、これから訪れる未知を照らし、勇気を持って進み、最後には新しい「道」をひらいて、「くれることを期待しています」。

さて、「道をひらく」ということで、一つ私の好きな言葉を少し紹介します。松下幸之助(パナソニック創設者)著書の『道をひらく』からの一文です。

「峠から峠に移る旅路かなーいつ聞いたのか、どこで読んだのか、もうすっかり忘れてしまったが、この言葉だけは今も忘れずに、時折の感慨にフット頭をかすめていく。一つの峠を越えてホッと息をついたら、また次に峠が控えていて、その峠を越えようと、やっぱり次に峠がつづいていて、だからとてもなく峠がつづいて、果てしもない旅路である。」

これもまた人生の一つの真実である。真実であるかぎり、これは誰も避けられない。避けられないければ、やはりただ懸命に歩むほかないであらう。

高い峠、低い峠、荒れた峠、のんびりした峠、さまざまの起伏の中に、さまざまの人生が織り込まれて、それで一筋の歩みのあとがついてゆく。時には雨に降られ、風に吹かれ、難波の重い足を引きずらねばならぬこともあるが、また思わぬ暖かい日射しに、チチと鳴く小鳥の声をなつかしむこともある。

それでも元気で懸命に、越えられるだけの峠を越え、歩めるだけの旅路を歩みたい。若葉の峠に、また新しい意欲をおぼえるのである。」

終わりになりますが、これからの人生において、いくつもの峠が控えていると思えます。それらを越えてください。そして、その度に新しい希望に心躍らせて成長してください。これから出会う誰からも感謝されるような、そんな人間となる準備をこの第二高校ですてほしいと思います。

【二学年】

未来の自分へ

二年部 坂井恵理香

「二十一世紀は、どのような社会になっているのだろうか。」私が君たちと同じ高校生であった頃、ドラえもんの世界も夢ではなくなっているのではないかと密かに期待をしていた。時は流れ二十一世紀の到来。二十一世紀は、私の期待を裏切らなかつた。いつでもどこでもインターネットでたくさん動画や情報が配信されそれを受信することができる。世界中の至るところで見知らぬ人たちがつながることができるツールであるSNSは、ドラえもんの「どこでもドア」さながらである。しかし、私が一番欲しかったタイムマシンの、まだ開発のめどもたっていない。タイムマシンがあれば私は、高校時代に戻りたい。なぜなら、いままで生きてきた中で、一番楽しく充実した時間だったからだ。あんなこともこんなこともしたいと将来の自分を想像して、それぞれの進路実現に向かって友人たちとよく遊びよく学んだ日々。

本校では、志高い生徒が自主的に始めた早朝自学が徐々に広がり、昭和六十三年には全校生が取り組むようになった。第二高校といえ「早朝自学」と言われるようになった。令和になり、第二高校の早朝自学が原点に還りさらに深化した。生徒が主体的に学ぶ時間が取り入れられたのだ。この主体的な学びの時間こそ未来の自分と対話できる時間ではないだろうか。第二高校のみなさんは、未来の自分との対話を楽しんでいきますか。十年後こんな仕事についてこんな生活をしたい。だから、今自分の目標はこうなんだと未来の自分と本気で向き合っていますか。みんなが大学に行くから自分も漠然とした気持ちの人はいませんか。みんながではなく、自分がどうなりたいたかが大切です。未来の自分が輝けるプランを立てて、実行するのが高校時代だと私は思う。孫子の兵法書には、「彼を知り、己を知れば、百戦殆うからず」とあります。みなさんに当てはめてみると、彼は志望校です。進路研究は、進んでいますか。彼を知って対策を練り、自分と対話をして、万全の準備をするのは今ですよ。

ミヒヤエル・エンデ作『モモ』を読んだことがありますか。このお話は、主人公の小さな少女モモが、町のみんなの盗まれた時間を時間泥棒から取り戻すものです。みなさんは、大切な時間をインターネットなどのSNSに奪われていませんか。もしそうだとしたらいますぐ取り戻しましょう。時間は、無情なもので決して止まってくれません。あつという間に、大学入試の日を迎えることになりました。しかし、無情だけれど、時間だけは、この世のすべての人々に平等に一日二十四時間与えられているものでもあります。どう使うかは本人次第。「頭がいい」のではなく時間管理すなわち自己管理がきちんとできていくかどうかの違いなのです。今の自分をもう一度見つめ直しましょう。

将来タイムマシンの完成したら高校時代に帰ってやり直したい。未来の自分がこんなはずではなかったと思わなくていい素敵な高校時代をみなさんには過ぎて欲しい。タイムマシーンができたらみんなと同じ高校生になりたい人生の先輩からエールを送る。

「二高生よ。よく学び、よく遊べ。」

未来への期待と不安

二年部 田嶋 努

私が高校を受験した年は、ちょうど元号が昭和から平成に変わった年でした。旧元号が昭和六十四年一月七日まで続き、新元号が平成元年一月八日からはじまりました。

その時の元号を発表したのが、当時の小渕官房長官でした。何か一つの時代が終わわり、新時代の幕開けに期待と不安を抱いていたのを覚えています。

人は、過去と未来について考えるとき、エネルギーを必要とします。過去について考えると、後悔や未練が出てきてしまいます。「なぜあんなことをしたのだろうか」「あのとき、こうすれば良かった」「タイムマシンで過去に戻ってやり直したい」...

それでは、未来を考えるとときはどうでしょう。未来について考えるとき不安がよぎります。「もし...だったらどうしよう」「怖い。嫌だ。逃げたい」まだ起こっていないことを勝手に想像して、勝手に逃げたいことを勝手に嫌だ。どうしても危険を避けるために、まず危険な場面を想像しがちです。そのように考えてしまうのは仕方ないのかもしれない。

でも、出来ることならそのようなネガティブな未来ばかり考えたくはないですよ。明るいポジティブな未来を考えて生きていきたいですよ。まず、「失敗をしない人間なんていない」から、失敗への対策を普段から取っておくことが必要です。事故・健康の金銭面の対策としては、保険がありますよね。これは、安心を買っているのです。不安が減ることで、明るい未来を考えやすくなります。

それでは、受験に対する不安を解消するためには、どうすればいいのでしょうか。

保険は買えないですが、不安を減らす方法があります。それは勉強をすることです。「やるだけのことはやったから大丈夫」「やるだけのことはやったから結果がどうであれ、悔いはない」「やるだけやったと思えるほど努力することが、大きな自信につながります。

「失敗をしない人間なんていない」から、「失敗を恐れるべきではない。むしろ、早い段階で失敗を多く経験して糧にすることが重要である。」知能や能力は成長しないと聞いていませんか？努力で伸ばすことができるのです。だから、努力をしないことは、自ら可能性を捨てているのと同じことになりませんか。もったいないことです。失敗は成功へのチャンスと考えましょう。

でも、不安をゼロにするのは難しいですね。ひとりで悩んでいるよりも誰かに相談するなど、気分を変えてみることで不安を和らげることが出来ます。受験は、ひとりで戦うわけではありません。みんな支えあって、乗り越えましょう。この不安を乗り越えた先には、大きな感動や成長が成し遂げられます。

それでは、勉強を頑張るとは、何をすればいいのでしょうか？当たり前のことですが、授業をしっかり受け、課題を提出する。これだけのことができていない人がいますよ。最後に、私が出会った生徒の話をご紹介します。今は、世界を相手に日本代表として戦っている選手です。学生のときから、年代別日本代表に選ばれていたため、学校を公欠することが多く、学校との両立が大変だったと思えます。海外から帰ってきてすぐの授業は内容も理解できない科目もあったはずですが、時差もあり、身体も疲れていたと思いますが、決して授業中に居眠りをすることはありませんでした。先生に対してだけでなく、誰に対してもリスペクトの精神を持っていた生徒で、他人から何かを学ぶ吸収する考えを持ち合わせていました。学びの機会は、周囲に多くあります。それをぜひ活かしましょう。

## 一学年 進路学習の取り組み

進路指導部 林田登之

「大学オープンキャンパス・大学調べ報告書」

一学年は「インターンシップ」（職業体験）と「進路ガイダンス」（職業講話）を実施する予定でしたが、コロナ禍のためいずれも中止となり、貴重な進路学習の機会が失われました。このため、GR・AS・SS（探究の時間）の課題を兼ねる形で、夏休み中の大学等オープンキャンパス参加と大学調べを重点的に行いました。各大学のオープンキャンパスも、コロナ禍のためWeb開催がほとんどでしたが、逆に全国どこかの大学でも参加できるという利点を生かし、生徒たちは興味のある大学・学部調べに取り組み、二年後の進路選択に向けて意識を高めることができましたようです。

以下、「オープンキャンパス参加報告書」中の設問…「オープンキャンパスに参加して感じたことを踏まえて、これからしたいことは何ですか？」に対する生徒の答えを抜粋します。

・まだ熊本大学に行けるほどの学力を持っていないので、とりあえず学校での勉強を一生懸命していきたい。

・工学部は理系の教科がある程度極めておかないといけないのでこれから数学や物理などの教科をしっかりレベルアップできるようにしっかり学んでいこうと思います。

・養護教諭養成過程は、教育学部の他の学科と比べても、専門的な科目が多いので、高校生の間に専門科目以外の学習をもっと定着させておきたいと思いました。

・海外研修はどのような事をするのか、それによって何を学べるのか、を調べたい。どんな職業に繋がるのかを知ることに関心があるから。

・留学をするために、一定の英語の力が必要だということを知ったので一年生のうちから英検やTOEICを積極的に受けていきたいなと思います。

・自分が希望しているのは、文学部日本語日本文学科だが、海外に興味のある生徒が多く、動画内でもALITの先生方が度々登場したため、この大学に通うなら今より海外に関心を向ける必要があると感じた。留学や、外人と話すのに抵抗

があるから、英語、特にこれからは重視されるであろうスピーキングとリスニングの力をつけ、自信に変えていきたい。

・いろんな大学の理学療法科を調べたい。今までは、理学療法科だったけどどこでもいいなという感じだったけれど、広島大学のオープンキャンパスに参加して、その大学ならではの特色があるのだと思ったからです。

・農学部・生命科学科の模擬授業を見ました。それを見ていて私が思ったことは、今、習っている生物の授業を基礎とした内容の延長線上の授業を大学で学んでいるのだなということですね。だから私は今おろそかにしてしまっているところのある生物の授業の復習に力を入れていきたいです。

・言語文化学部に進学し、各国について歴史だけじゃなく、国の一人一人に焦点を当てて調べてみたい。日本からの目線の歴史を学んだだけだと、どうしても偏見が残ってしまうと思うし、国の文化の違いを知るのが面白そうだから。

・今まで設計についてしかあまり考えていなかったが、自分が目指す建築士になるためには様々な視点から建築について考えるべきだと

感じました。だから今の日本の建築の様式について調べ、どんな環境に対応するためのかなどいろんな視点から建築について考えを持ちたいです。

・鹿児島大学の話ではありますが、理想の学生像を六つ掲げられていました。とりあえず今はその六つになれるようにしていきたいと思っています。その中でも一番足りないなと思ったのは「学習意欲があり自主的に学習する力」だと思ったので、人から言われての勉強ではなく、自分から進んで自分にも周りにも負けない勉強をしたいと思いました。

・高校の授業で日本画は取り扱われると思うので、そこでしっかり日本画の技法について学習し、技術を高めたい。他の大学についても調べてみて、研究内容を比較し、もっと自分に合ったものがあるかどうか探したい。

以上、感想を紹介しました。今回の活動で、大学では高校の学習内容が基礎となること、学部の専攻につながる教科だけでなく他教科も幅広く学ぶことの大切さなどを知ることができたようです。さらに進路研究を深めてくれるよう望みます。

一・二学年 進路学習の取り組み

進路指導部 西本達哉

1 大学・学部・学科調べ

二年生は、例年七月に「大学・学部・学科説明会」を実施しています。大学の先生方を講師としてお招きして、各分野の研究内容や卒業後の進路等について直接お話を伺うことができる絶好の機会ですが、今年度はコロナ禍等をはじめとした社会情勢

に鑑みて、この説明会の開催ができませんでした。そこで進路研究という形式で、自分が希望する大学・学部・学科についての進路研究を実施しています。左のプリントに沿って、自分が志望する大学等について十二月中旬までにまとめる予定です。

2 今後について

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、全国の大学で、学外向けのイベント(説明会等)をインター

ネット上で開催する動きが広がっています。いくつか例を挙げてみます。

九州大学

伊都・病院・大橋キャンパスにおいて開催予定のオープンキャンパスを、従来のような対面型ではなく、オンライン配信型で実施しています。オンライン個別進学相談会等の企画は順次実施され、「受験生向け特設サイト」から確認できます。

熊本大学

バーチャルオープンキャンパス二〇二〇として、特設サイト上でキャンパスと周辺の案内、学部・学科をバーチャル動画で説明、令和三年度の入試情報や卒業生の就職情報なども見ることができます。

西南学院大学

「西南WEBオープンキャンパス二〇二〇」が八月一日〜三十一日まで開催され、特設サイトでは、西南学院大学の三つの特色動画をはじめ、模擬講義、学部・学科紹介、キャンパスツアーの動画があり、入試試制度説明会では、受験に向けて入試情報の提供も行われました。

筑波大学

二〇二〇年度受験のため筑波大学説明会」として、オンラインでのオープンキャンパスを実施しています。サイト内では、総合選抜・総合学域群の説明を動画で紹介しているほか、大学概要説明資料、大学入学案内、入試過去問題なども一覧にして公開しています。

進路研究についての課題

令和2年11月12日  
進路指導部(2年生)

例年の志望が多い九州内の国立大学を中心にWEBページを紹介しています。これらを参考に皆さんが志望する大学の学問等を研究してください。自分の志望する大学の学部・学科を調べたものの中で、2つの大学を別紙様式にレポートしてまとめて提出してください。期限は12月18日(金)までとします。尚、Classiでも同様の内容を配信していますのでUPによる提出も可能です。



記入項目は

- (1) 大学の学部学科名(専攻や課程名がある場合は詳しく正確に)
- (2) なぜその大学をあなたが選んだのか?
- (3) 大学の特色や良いと感じたことなどを自由記述する。他の大学との比較や図や表などを取り入れても良い。建物の写真や学食のメニューなどは不要。
- (4) あなたがその大学を将来母校と呼ぶために、今必要なことを思いつく限り箇条書きで記入。

<p>熊本大学</p> 	<p>熊本県立大学</p> 	<p>九州大学</p> 
<p>広島大学</p> 	<p>長崎大学</p> 	<p>鹿児島大学</p> 

- 熊本大学 <https://www.kumamoto-u.ac.jp/opencampus/>
- 熊本県立大学 <https://puk-oc.jp/>
- 九州大学 <http://admission.kyushu-u.ac.jp/oc/faculty/>
- 広島大学 <https://open.campus.hiroshima-u.ac.jp/>
- 九州工業大学 <https://www.tobata.kyutech.ac.jp/exam/open2020/>
- 福岡教育大学 [https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/event/e\\_education/open\\_campus](https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/event/e_education/open_campus)
- 長崎大学 <https://voc.nagasaki-u.ac.jp/>
- 佐賀大学 [http://www.sao.saga-u.ac.jp/admission\\_center/ouensite/manabifes/](http://www.sao.saga-u.ac.jp/admission_center/ouensite/manabifes/)
- 大分大学 [https://www.oita-u.ac.jp/AP-center/open\\_campus/open\\_campus.html](https://www.oita-u.ac.jp/AP-center/open_campus/open_campus.html)
- 宮崎大学 <https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/opencmps/>
- 鹿児島大学 <https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/opencampus.html>

このように、多くの大学で、オープンキャンパスや大学説明会をweb上で実施しています。今までは家の近くや九州内だからといった理由で説明会に参加していたものが、遠くの大学でもすぐに見ることができず。このような機会だからこそ、全国に目を向けて大学調べを行い、その大学特有の研究分野などについて調べてみましょう。

また、進路指導室の前の掲示板にも様々な大学の情報が随時出ています。ぜひ、見に来てください。



令和3年度入試について

進路指導主事 山崎 一

1 大学入学共通テスト

「大学入試センター試験」の後継として導入の準備が進められてきた「大学入学共通テスト（以下共通テスト）」が本年度から実施されます。共通テストは、当初、「記述式問題」の導入や「英語外部資格・検定試験（以下外部試験）」の利用が予定されていましたが、それらの見送り・延期が決定しました。「記述式問題」については、「論理的な思考力・判断力・表現力を評価する」ことを目的として実施の予定でしたが、採点ミスが完全になくすることに限界があること、「外部試験」についても、公平性に関する課題が指摘され、見送り・延期が決定しました。また、新型コロナウイルス感染症拡大で休校があったことなどの影響に配慮し、試験日を二回設けるなど異例の形での実施となります。

2 英語外部資格・検定試験の利用

共通テストでは、複数の外部試験を利用し、各試験結果を「大学入学英語成績提供システム」において、統一基準による成績に変換されて各

大学へ提供される予定でしたが見送り・延期になりました。しかし、各大学においては、数年前から入試の見直し・改革が進められており、文部科学省が公表している外部試験利用状況を見ると、「利用する」としているのは、国立六四・六％、公立三九・八％、私立六〇・七％となっています。国立大学で外部試験を利用している主な入試区分は、学校推薦型選抜となっています。一般選抜における利用方法は、大きく①出願資格型、②英語試験免除・得点換算型、③得点加算型の三タイプになりますが、各大学の利用方法をよく把握しておくことが重要になります。

3 リーディングとリスニングの配点比

共通テストの変更点のひとつとして、英語のリーディング（R）とリスニング（L）の配点比が…一になり、リスニングを軽視できなくなりました。各大学によって配点比が異なりますので、志望校を検討する際は注意が必要となります。特に、九州大学（…一）、熊本大学（四…一）のように同じ九州地区でも配点比が大きく異なる場合もありますので、各大学の配点比については十分注意が必要になります。

4 今後の入試動向

各大学では、受験人口減少の影響で、学生を確保するために、学部の新設・改組が行われています。こうした改組は、志望動向にも影響があります。就職状況が好転したこともあり、二〇一五年度入試からは長年続いた「理高文低」から「文高理低」に転じましたが、二〇一九年度入試からは「理高文低」の傾向が見られます。理系では、工学部の中でも、特に情報系、建築系の人気が高くなっています。また、新型コロナウイルスの影響

R100 : L100 (1 : 1)	国立	広島、福岡教育、九州、九州工業
	公立	鳥取環境、福岡県立、大分県立看護科学
R200 : L50 (4 : 1)	国立	筑波、千葉、神戸、岡山、山口、長崎、熊本
	公立	名古屋市立、広島市立、高知工科
R150 : L50 (3 : 1)	国立	東北、電気通信、静岡、名古屋、大阪、佐賀
	公立	大阪市立
その他 (学科ごとに異なる)	国立	愛媛、大分、鹿児島
	公立	下関市立、宮崎公立、沖縄県立芸術

で、安全志向、地元志向が見られます。

大学入試は、学力の三要素（①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）の育成を目指す「高等学校教育改革」、その学力の三要素を多面的に評価する「大学入学者選抜改革」、高校までに培った力をさらに向上・発展させ、社会に送り出すための「大学教育改革」の三位一体改革の「高大接続改革」の一部に過ぎません。しかし、従来の受け身型から課題解決型教育への質的転換を図る取り組みである高大接続改革は、今後の社会の担い手として日本を支えていく君たちが今後必要とされる力を身に付けるために進められてきました。普段の学校生活においても、受け身で授業を受けるのではなく、主体的に学び、基礎学力と総合力を身に付けることが必要です。日ごろから論理的に物事を考え、思考力・判断力を養い、相手を納得させる表現力を身に付けていきましょう。二高生には、その機会が与えられ、それを身に付けるだけの十分な素質があると思います。自分の進路目標を明確にし、目標に向けて努力していきましょう。

# 教室にある進路資料を活用しよう

進路指導部 池田・苗床

1年生は2学期に文理選択という重要な進路決定を行いました。3学期からは学校研究を行い、志望校を明確にする段階になります。2年生の3学期は3年生0学期として受験に向けた準備段階となる時期です。教室にある進路資料は進路決定の心強い味方です。本の概要について以下にまとめていますので、それぞれの段階に合わせて活用していきましょう。

※入試制度の変更とコロナ禍の影響でこの数年は入試内容の大きな変更が予想されます。以下の進路資料だけでなく、志望校の情報は必ず各学校の最新のホームページや入試要項などで確認しましょう。

## この本でわかることを紹介します



「蛭雪時代」  
(旺文社)

〈4月号〉適性学部診断テスト、学問イラストガイドや「興味・関心とキーワードから学部・学科を探そう」など進路が明確に決まっていな生徒にお勧め。

〈6月号〉13のジャンルに分けて約550種の資格・検定・職業の内容とデータがまとめられている。国家試験の結果一覧、奨学金情報が掲載されている。

〈7月号〉学校推薦型・総合型選抜の基礎知識&合格ガイド。受験レポート、学部系統別インデックスや過去問ダイジェストで最近の出題傾向をつかむことができる。

〈8月号〉全大学の学部・学科の入試情報や前年度の入試結果。大学別の就職状況。

〈9月号〉新選抜実施全大学の要項ガイド。推薦型、総合型選抜各大学の変更点一覧。学部系統別・面接の実態レポート。前年度の推薦・AO入試データを掲載。

〈10月号〉看護・医療・福祉系の進学、入試ガイド。看護系学科「理科」選択パターン、資格取得ルートマップ、学校別取れる資格一覧、看護・医療・福祉系の奨学金一覧など医療・福祉系について掲載。

〈11月号〉各大学の一般選抜の入試日程・科目・配点情報。志望動向&難易変動予測。過去の合格最低点。英語外部検定(英検/TEAP/IELTS)を利用している全国の大学一覧、偏差値・難易度一覧を掲載。

★検索キーワード★入試ガイド ★共通テスト科目 ★2次試験科目 ★最近の動向



「君はどの大学を選ぶべきか」  
(大学通信)

全国の国公立・私立大学が写真付きで紹介されており、各大学の奨学金制度や卒業後の進路、また取得可能な資格などが記載されている。各大学の学部の特徴がまとめられている。また、大学の教員数や学生数、蔵書数などのデータも記載されており、大学の規模や特色を把握することができる。

★検索キーワード★入試ガイド ★卒業後の進路 ★取得可能資格 ★奨学金制度



「逆引き大学辞典」  
(廣吉社)

「学問内容リサーチ」では、法学や化学、また医学や農学など各分野の特徴や研究内容がまとめられており、大学で専攻する学問を見つけるのに役立つ内容が掲載されている。また「学科逆引き大学辞典」では学部学科ごとに大学を調べることができる。例えば「文学部」で調べると、全国の大学の中で文学部を保有する大学がわかるため、比較しやすい。

★検索キーワード★研究内容 ★学部 ★職業



「進路徹底研究」  
(JS コーポレーション)

全ページカラー印刷。全国の大学が路線図とともに記されており、大学の位置を知ることができる。また「職業・資格紹介」のページでは国家公務員や司法書士、税理士、通訳などになるために必要な勉強や資格が紹介されている。全国の専門学校の紹介もある。

★検索キーワード★大学の場所 ★職業別解説 ★専門学校情報



「キャンパスGUIDE」  
(熊日出版)

熊本・九州にある各大学の内容が紹介されている。各大学が特に力を入れている分野や教育制度などが記載されているので、県内あるいは九州内の大学を考えている場合は参考になる。「ボクのワタシの合格体験」では、志望の動機や勉強方法、勝因、アドバイスなどが掲載されている。

★検索キーワード★九州内の大学 ★詳細な解説 ★合格体験談